支援事例

商工会名	あさぎり町 商工会	氏名	石川 真	情報開示の可否	可
支援テーマ	雇用・労務関係	題名	販路拡大の中での業務効率化		

<支援企業の概要>

事業所名	合同会社 琇華	従業員	4	人	創業/ 会社設立	創業日	2017年10月1日
業種	製造業	うち家族従業員	0	人		業歴	7年5ヶ月

○企業概要

合同会社琇華は きくらげと シイタケの栽培を行ない、その加工品も製造している事業者である。
 安心安全な食品から多くの方の健康を増やしたいことが企業理念である。
 あわせて、働きやすい職場の提供も目指して事業を行なっている。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

販路拡大とあわせて、機械化を進めるための相談を受けた。
 働きやすい職場の提供も創業時より目指しておられることであったため、現状把握と共に、計画内容を確認した。
 まだ、手作業が多く、その中でも、以下の3つについて機械化または効率化を実現したい考えであった。
 1. 裁断の一部（肉厚種類のシイタケのカット）の機械化、2. 栽培場での定期的な水噴霧が一部エリア手作業
 3. 事業所内、出荷待機場と加工場が離れており、保冷库は出荷待機場にしかなく容量が不足気味になっている。

○支援内容および支援後の状況・効果

現状把握と 事業計画策定支援を行う中で、従業員は皆さんパートであり、賃金引上げを検討していることが分かった。
 この現状であったため、適う支援策として、業務改善助成金について説明を行なったところ、事業主は申請することを決めたため、ご自身で申請手続きを行うためのフォローと共に、提出する事業計画策定支援を行なった。
 結果、先記3つの機器導入における、各々の効率化（時短や工数削減）の数値化も行なって、申請完了した。

○今後について（目標や課題など）

この手続きの中で、効率化と共に、労働関係の記録や労務管理の重要性も、事業主は再認識する機会となった。
 また、計画策定の中においても、受注量や出荷量と 作業量の対比、長期的な計画（2-3年後を見据えた）取組み、販路拡大計画とあわせた生産体制、労働環境の整備について（見る範囲、検討項目含めて）向上を進めることができたため、この継続発展が続くように支援フォローを行う。